

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公表番号】 特表 2001-527523 (P2001-527523A)
【公表日】 平成 13 年 12 月 25 日 (2001.12.25)
【出願番号】 特願 平 10-521930

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 235/32

【F I】

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 235/32 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 10 月 5 日 (2004.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月5日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-521930号

2. 発明の名称

ウイルス感染および癌の治療のためのベンゾイミダゾール-2-
カーバメート

3. 補正をする者

ユーエイエフ テクノロジーズ アンド リサーチ リミテッド
ライアビリティ カンパニー

4. 代 理 人

東京都港区赤坂2丁目6番20号

電 話 (03)3589-1201 (代表)

(7748) 弁理士 谷 義 一



5. 補正命令の日付

自 発

6. 補正対象書類名

明 細 書

7. 補正対象項目名

請求の範囲



8. 補正の内容

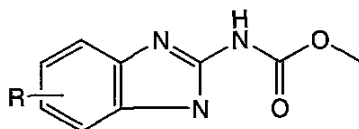
(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。

以 上

別 紙

請求の範囲

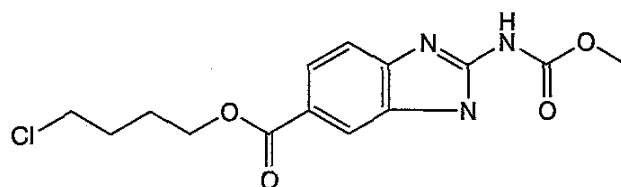
1. 癌またはウイルス感染を治療するための医薬組成物であって、安全で有効な量の以下の式を有するベンゾイミダゾール誘導体：



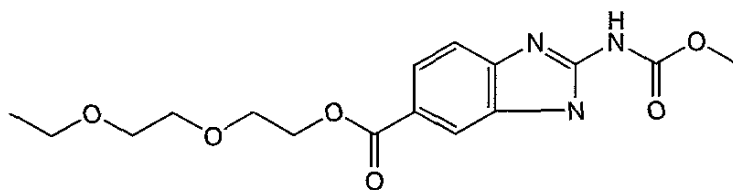
(上式で、Rは、ヒドロキシル、および $-CO_2R'$ から成る群から選択され、 R' は、 C_8 アルキル、 C_{1-8} アルコキシ、 C_{1-8} ハロアルキル、 $C_{1-8, 11}$ アルケニル、 C_{1-8} シクロアルキル、 $CH_3CH_2(OCH_2CH_2)_n-$ 、 $CH_3CH_2CH_2(OCH_2CH_2CH_2)_n-$ および $(CH_3)_2CH-(OCH(CH_3)CH_2)_n-$ から成る群から選択され、 $n-1 \sim 3$ である) またはその薬剤学的に許容しうる塩、またはそれらの混合物、を含むことを特徴とする医薬組成物。

2. 薬剤学的に許容しうる担体をさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の医薬組成物。

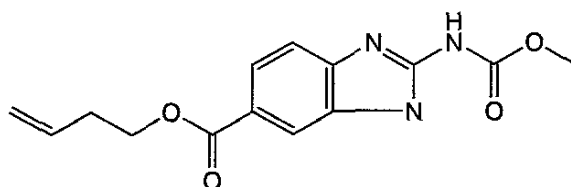
3. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下の式を有することを特徴とする請求項1または2に記載の医薬組成物。



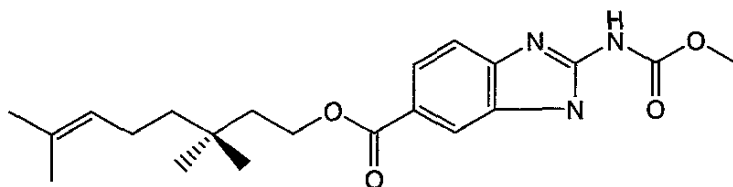
4. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下のものであることを特徴とする請求項1または2に記載の医薬組成物。



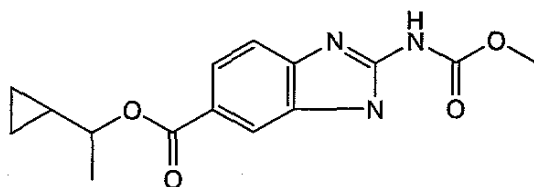
5. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下のものであることを特徴とする請求項
1または2に記載の医薬組成物。



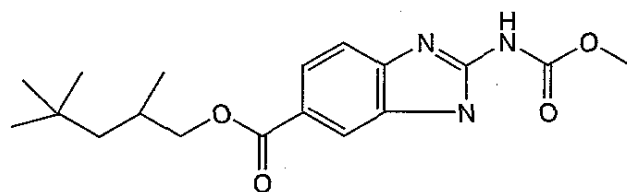
6. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下のものであることを特徴とする請求項
1または2に記載の医薬組成物。



7. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下のものであることを特徴とする請求項
1または2に記載の医薬組成物。



8. 前記ベンゾイミダゾール誘導体が以下のものであることを特徴とする請求項
1または2に記載の医薬組成物。



9. 前記薬剤学的に許容しうる塩が、塩化物、臭化物、硫酸塩、硝酸塩、リン酸塩、スルホン酸塩、ギ酸塩、酒石酸塩、マレイン酸塩、リンゴ酸塩、クエン酸塩、安息香酸塩、サリチル酸塩、アスコルビン酸塩およびそれらの混合物から成る群から選択されることを特徴とする請求項1から8のいずれかに記載の医薬組成物。

10. 温血哺乳類におけるウイルス感染を治療するための薬剤の調製において、請求項1から9のいずれかに記載の医薬組成物を使用する方法。

11. 温血哺乳類における癌を治療するための薬剤の調製において、請求項1から9のいずれかに記載の医薬組成物を使用する方法。

(以下余白)